

久留米大学経済学部

2010年度後期『学生による授業評価アンケート』結果

1. アンケート項目

■授業について

- Q1 授業の内容は理解しやすかったですか（理解）。
- Q2 授業はあなたにとってプラスになりましたか。あるいはあなたにとって有益でしたか（有益）。
- Q3 授業を興味深く受講することができましたか（興味）。
- Q4 この授業を受けて、さらに進んだ勉強をしたいと思いましたか（関心）。
- Q5 授業は入念に計画され、全体的によくまとまっていたか（計画）。
- Q6 授業は、私語をする人も少なく、受講をする上で良い環境で進められましたか（環境）。
- Q7 授業はほぼ時間通り始まりましたか（時間）。
- Q8 話し方、板書などを含め、先生の説明は分かりやすかったですか（説明）。
- Q9 先生の授業には情熱や意欲が感じられましたか（情熱）。

以上の各設問について、

4：強くそう思う 3：そう思う 2：そう思わない 1：全くそう思わない

■学修ガイドについて

- Q10 『学修ガイドブック』は授業を選択したり、理解するのに役立ちましたか（ガイド）。
- Q11 『学修ガイドブック』に書かれている計画にしたがって授業は進められましたか（進行）。

以上の各設問について、

4：強くそう思う 3：そう思う 2：そう思わない 1：全くそう思わない

■あなた自身について

- Q12 あなたの出席率はどのくらいでしたか（出席）。
- 4：80%以上 3：79-60% 2：59-50% 1：49%以下
- Q13 あなたは遅刻をせず、授業に出席しましたか（遅刻）。
- Q14 ノートは必要に応じてしっかり取りましたか（ノート）。
- Q15 授業に集中して受講しましたか（集中）。

以上の各設問について、

4：強くそう思う 3：そう思う 2：そう思わない 1：全くそう思わない

■総合評価

Q16 この授業を総合的に評価すると、どれに該当しますか（総合）。

4:大変良い 3:良い 2:良くない 1:あまり良くない

2. 結果

(1) 全体

全科目（88科目）の集計結果は表1の通りとなっている。平均が3を下回っているのは「Q4 この授業を受けて、さらに進んだ勉強をしたいと思いましたが（関心）」だけである。逆に平均がきわめて高いのは「Q12 あなたの出席率はどのくらいでしたか（出席）」、「Q13 あなたは遅刻をせず、授業に出席しましたか（遅刻）」という自身の受講態度に関する項目であった。

前年度との比較では、「Q7 授業はほぼ時間通り始まりましたか（時間）」が-0.05と下がっているが、もともとの平均が3.37と十分に高く、有意な変化とはいえない。

表1 全科目の集計結果と前年度の平均との比較

設問	4	3	2	1	無効	平均	前年平均	変化
Q1:理解	789	2075	439	66	2	3.06	3.03	0.03
Q2:有益	964	1981	371	54	1	3.14	3.14	0.00
Q3:興味	856	1868	581	63	3	3.04	3.03	0.01
Q4:関心	701	1657	890	116	7	2.87	2.86	0.01
Q5:計画	1131	1859	324	48	9	3.21	3.19	0.02
Q6:環境	1507	1486	294	78	6	3.31	3.29	0.02
Q7:時間	1488	1539	275	61	8	3.32	3.37	-0.05
Q8:説明	1001	1757	488	121	4	3.08	3.08	0.00
Q9:情熱	1368	1797	161	39	6	3.34	3.32	0.02
Q10:ガイド	724	2065	469	88	25	3.02	3.01	0.01
Q11:進行	775	2201	309	53	33	3.11	3.1	0.01
Q12:出席	2477	758	50	7	79	3.73	3.76	-0.03
Q13:遅刻	2374	869	121	5	2	3.67	3.67	0.00
Q14:ノート	1907	1189	222	52	1	3.47	3.45	0.02
Q15:集中	1544	1567	236	20	4	3.38	3.36	0.02
Q16:総合	1128	1939	240	55	9	3.23	3.22	0.01

表2は各設問の1~4の回答割合であり、「Q4 この授業を受けて、さらに進んだ勉強をしたいと思いましたが（関心）」以外は3と4で80%以上を占めている。

表 2 全体での 1~4 の回答割合

設問	4+3	4	3	2	1
Q1:理解	85.0%	23.4%	61.6%	13.0%	2.0%
Q2:有益	87.4%	28.6%	58.8%	11.0%	1.6%
Q3:興味	80.9%	25.4%	55.5%	17.3%	1.9%
Q4:関心	70.1%	20.8%	49.3%	26.5%	3.4%
Q5:計画	88.9%	33.6%	55.3%	9.6%	1.4%
Q6:環境	88.9%	44.8%	44.2%	8.7%	2.3%
Q7:時間	90.0%	44.2%	45.8%	8.2%	1.8%
Q8:説明	81.9%	29.7%	52.2%	14.5%	3.6%
Q9:情熱	94.1%	40.7%	53.4%	4.8%	1.2%
Q10:ガイド	83.4%	21.6%	61.7%	14.0%	2.6%
Q11:進行	89.2%	23.2%	65.9%	9.3%	1.6%
Q12:出席	98.3%	75.2%	23.0%	1.5%	0.2%
Q13:遅刻	96.3%	70.5%	25.8%	3.6%	0.1%
Q14:ノート	91.9%	56.6%	35.3%	6.6%	1.5%
Q15:集中	92.4%	45.9%	46.5%	7.0%	0.6%
Q16:総合	91.2%	33.6%	57.7%	7.1%	1.6%

(2) 基礎教育科目

基礎教育科目には、原論系、数学系、情報処理系など数理系科目が含まれる。昔から平均的に評価が低く、担当者にとって、評価の向上が重い課題であった。今回は創業評価の平均が 3.10 であり、全体平均 3.23 をわずかに下回る程度であった。平均が 3 を下回った項目は「Q4 関心」「Q3 興味」「Q1 理解」であり、「よく分らないから、あまり興味が持てず、もっとやってみたいという気が湧いてこない」という構図がうかがえる。とはいえ、「Q1 理解」でも 8 割近くは「理解しやすかった」「ある程度理解しやすかった」と答えており、今後は興味の喚起を考える必要がある。

表 3 基礎教育科目の集計結果

設問	4	3	2	1	無効	平均	前年平均	変化
Q1:理解	66	201	66	6	0	2.96	2.9	0.06
Q2:有益	71	205	55	8	0	3.00	2.99	0.01
Q3:興味	58	170	98	13	0	2.81	2.85	-0.04
Q4:関心	52	149	113	23	2	2.68	2.67	0.01
Q5:計画	90	199	43	6	1	3.10	3.05	0.05
Q6:環境	154	169	14	1	1	3.41	3.26	0.15
Q7:時間	115	162	53	9	0	3.13	3.14	-0.01

Q8:説明	93	170	58	18	0	3.00	3	0.00
Q9:情熱	127	183	23	6	0	3.27	3.27	0.00
Q10:ガイド	56	191	71	19	2	2.84	2.83	0.01
Q11:進行	63	225	41	7	3	3.02	2.95	0.07
Q12:出席	253	67	11	1	7	3.72	3.76	-0.04
Q13:遅刻	263	70	5	0	1	3.76	3.72	0.04
Q14:ノート	196	118	24	1	0	3.50	3.54	-0.04
Q15:集中	137	168	33	1	0	3.30	3.31	-0.01
Q16:総合	84	207	41	5	2	3.10	3.06	0.04

表 4 基礎教育科目の 1～4 の回答割合

設問	4+3	4	3	2	1
Q1:理解	78.8%	19.5%	59.3%	19.5%	1.8%
Q2:有益	81.4%	20.9%	60.5%	16.2%	2.4%
Q3:興味	67.3%	17.1%	50.1%	28.9%	3.8%
Q4:関心	59.6%	15.4%	44.2%	33.5%	6.8%
Q5:計画	85.5%	26.6%	58.9%	12.7%	1.8%
Q6:環境	95.6%	45.6%	50.0%	4.1%	0.3%
Q7:時間	81.7%	33.9%	47.8%	15.6%	2.7%
Q8:説明	77.6%	27.4%	50.1%	17.1%	5.3%
Q9:情熱	91.4%	37.5%	54.0%	6.8%	1.8%
Q10:ガイド	73.3%	16.6%	56.7%	21.1%	5.6%
Q11:進行	85.7%	18.8%	67.0%	12.2%	2.1%
Q12:出席	96.4%	76.2%	20.2%	3.3%	0.3%
Q13:遅刻	98.5%	77.8%	20.7%	1.5%	0.0%
Q14:ノート	92.6%	57.8%	34.8%	7.1%	0.3%
Q15:集中	90.0%	40.4%	49.6%	9.7%	0.3%
Q16:総合	86.4%	24.9%	61.4%	12.2%	1.5%

(3) 専門教育科目

専門科目の集計結果は全体とほぼ同じである。Q4 以外の平均は 3 を超えており、全体に高い評価を得ている。

表 5 専門教育科目の集計結果

設問	4	3	2	1	無効回答	平均値
Q1:理解	633	1684	352	57	2	3.06
Q2:有益	772	1615	298	43	0	3.14
Q3:興味	677	1546	456	46	3	3.05

Q4:関心	556	1358	723	87	4	2.87
Q5:計画	917	1517	253	35	6	3.22
Q6:環境	1196	1184	268	76	4	3.28
Q7:時間	1203	1257	211	50	7	3.33
Q8:説明	794	1430	404	96	4	3.07
Q9:情熱	1097	1469	128	30	4	3.33
Q10:ガイド	583	1689	370	64	22	3.03
Q11:進行	621	1788	249	41	29	3.11
Q12:出席	1982	644	31	6	65	3.73
Q13:遅刻	1886	734	103	4	1	3.65
Q14:ノート	1524	974	182	47	1	3.46
Q15:集中	1240	1276	191	18	3	3.37
Q16:総合	904	1587	185	45	7	3.23

表6 専門教育科目の1～4の回答割合

設問	4+3	4	3	2	1
Q1:理解	85.0%	23.2%	61.8%	12.9%	2.1%
Q2:有益	87.5%	28.3%	59.2%	10.9%	1.6%
Q3:興味	81.6%	24.8%	56.7%	16.7%	1.7%
Q4:関心	70.3%	20.4%	49.9%	26.5%	3.2%
Q5:計画	89.4%	33.7%	55.7%	9.3%	1.3%
Q6:環境	87.4%	43.9%	43.5%	9.8%	2.8%
Q7:時間	90.4%	44.2%	46.2%	7.8%	1.8%
Q8:説明	81.6%	29.1%	52.5%	14.8%	3.5%
Q9:情熱	94.2%	40.3%	53.9%	4.7%	1.1%
Q10:ガイド	84.0%	21.5%	62.4%	13.7%	2.4%
Q11:進行	89.3%	23.0%	66.2%	9.2%	1.5%
Q12:出席	98.6%	74.4%	24.2%	1.2%	0.2%
Q13:遅刻	96.1%	69.2%	26.9%	3.8%	0.1%
Q14:ノート	91.6%	55.9%	35.7%	6.7%	1.7%
Q15:集中	92.3%	45.5%	46.8%	7.0%	0.7%
Q16:総合	91.5%	33.2%	58.3%	6.8%	1.7%

(4) ユニット科目

「Q16 総合」の平均3.38は3群の中でもっとも高い。各項目についても3を下回ったものはなく、高い評価を得ている。

表7 ユニット科目の集計結果

設問	4	3	2	1	無効回答	平均値
Q1:理解	83	175	19	3	0	3.21
Q2:有益	114	145	17	3	1	3.33
Q3:興味	111	141	24	4	0	3.28
Q4:関心	89	139	45	6	1	3.11
Q5:計画	115	130	26	7	2	3.27
Q6:環境	145	123	10	1	1	3.48
Q7:時間	154	113	10	2	1	3.50
Q8:説明	104	146	23	7	0	3.24
Q9:情熱	130	136	9	3	2	3.41
Q10:ガイド	82	166	27	4	1	3.17
Q11:進行	88	168	19	4	1	3.22
Q12:出席	223	43	7	0	7	3.79
Q13:遅刻	209	58	12	1	0	3.70
Q14:ノート	177	84	15	4	0	3.55
Q15:集中	155	114	9	1	1	3.52
Q16:総合	128	134	13	5	0	3.38

表8 ユニット科目の1~4の回答割合

設問	4+3	4	3	2	1
Q1:理解	92.1%	29.6%	62.5%	6.8%	1.1%
Q2:有益	92.8%	40.9%	52.0%	6.1%	1.1%
Q3:興味	90.0%	39.6%	50.4%	8.6%	1.4%
Q4:関心	81.7%	31.9%	49.8%	16.1%	2.2%
Q5:計画	88.1%	41.4%	46.8%	9.4%	2.5%
Q6:環境	96.1%	52.0%	44.1%	3.6%	0.4%
Q7:時間	95.7%	55.2%	40.5%	3.6%	0.7%
Q8:説明	89.3%	37.1%	52.1%	8.2%	2.5%
Q9:情熱	95.7%	46.8%	48.9%	3.2%	1.1%
Q10:ガイド	88.9%	29.4%	59.5%	9.7%	1.4%
Q11:進行	91.8%	31.5%	60.2%	6.8%	1.4%
Q12:出席	97.4%	81.7%	15.8%	2.6%	0.0%
Q13:遅刻	95.4%	74.6%	20.7%	4.3%	0.4%
Q14:ノート	93.2%	63.2%	30.0%	5.4%	1.4%
Q15:集中	96.4%	55.6%	40.9%	3.2%	0.4%
Q16:総合	93.6%	45.7%	47.9%	4.6%	1.8%

3. 講評

私自身で確認したことはないが、アメリカでは、経済学部は理系といわれている。しかし、日本では経済学部は文系であり、そして「数学に弱ければ文系」という了解のもとに、本学経済学部にも数学に弱いと思われる多くの学生が入学してくる。

『学生による授業評価アンケート』が始まったころ、数理系、情報処理系の教員にとって、評価の低さはまさに頭痛のタネであり、それぞれの部門でそれぞれの対策を余儀なくされてきた。表9は2006年と2010年の比較を示しているが、最近の4年間を見てもかなりの改善が行われてきたことが読み取れる。

表9 2006年と2010年の比較

	基礎教育		専門教育	
	2010	2006	2010	2006
Q1:理解	2.96	2.75	3.06	2.91
Q2:有益	3.00	2.89	3.14	3.00
Q3:興味	2.81	2.73	3.05	2.88
Q4:関心	2.68	2.51	2.87	2.70
Q5:計画	3.10	2.96	3.22	3.10
Q6:環境	3.41	2.95	3.28	3.15
Q7:時間	3.13	3.32	3.33	3.16
Q8:説明	3.00	2.86	3.07	2.95
Q9:情熱	3.27	3.13	3.33	3.19
Q10:ガイド	2.84	2.74	3.03	2.87
Q11:進行	3.02	2.90	3.11	2.98
Q12:出席	3.72	3.73	3.73	3.64
Q13:遅刻	3.76	3.60	3.65	3.49
Q14:ノート	3.50	3.37	3.46	3.32
Q15:集中	3.30	3.16	3.37	3.19
Q16:総合	3.10	2.94	3.23	3.08

しかしながら、『学生による授業評価アンケート』については、まだ幾つかの問題が存在する。

最大の問題は「このアンケートの最終目的は学部・学科の教育目標の達成に資することであり、単に平均評価を上げることではない」という点について十分な合意が形成されていないことである。

これまで、私はFD研修会等で『学生による授業評価アンケート』の実情について紹介してきた。たとえば2007年のレポートでは、総合評価と各設問との相関を求めた表10を報告している。つまり、「総合評価」を左右しているのは、主に「分かりやすさ」であり、

「分かりやすければ、有益だと感じ、興味をひかれる」傾向がある。

表 10 「Q16 総合評価」と各設問との相関係数

	相関係数		相関係数
Q8:説明	0.915	Q11:進行	0.689
Q1:理解	0.89	Q15:集中	0.624
Q2:有益	0.889	Q6:環境	0.52
Q3:興味	0.831	Q7:時間	0.473
Q10:ガイド	0.798	Q14:ノート	-0.003
Q5:計画	0.767	Q12:出席	-0.093
Q9:情熱	0.765	Q13:遅刻	-0.112
Q4:関心	0.689		

一方、経済学部の子生に対する「授業以外での勉強時間」を調査したデータでは3割近い学生が「授業以外ではほとんど勉強しない」と答え、「1日平均45分以下」までに実に6割の学生が含まれていた。また、その理由として「不足していると思ったが、最低限の内容で妥協した」「その時間で予習・復習、レポート作成などを含めて、十分に対応できた」などを挙げるものが多かった。

この結果は、多くの学生自身が「勉強不足」を自覚しているということである。つまり、『学生による授業評価アンケート』の結果がよくなったとして、それは「先生の教え方が分かりやすくなった」かも知れないが、「学生がよく勉強するようになった」ことを意味しないし、まして、「学生に対する教育効果が上がった」かどうかは詳らかではない。

始まって15年近くになるアンケート調査であるが、そのあり方について、一歩進んだ対応を取るべき時期に来ているように思われる。

(文責 原田康平)